

新型 BMW X5

目次



市場導入時のモデル・バリエーション 新型 BMW X5.....	1
目次.....	1
新型 BMW X5.....	2
市場導入時のモデル・バリエーション	2
車両コンセプトおよびデザイン.....	4
BMW X ファミリーの礎となったモデル.....	4
インテリアおよび装備品	6
特別なドライビング・エクスペリエンスのための洗練された雰囲気	6
パワートレインおよびドライビング・エクスペリエンス.....	9
好みに合わせて運動性能や快適性を高める 革新性	9
ドライバー・アシスタント・システム.....	16
自動運転に向けた着実な進歩.....	16
表示および操作システム、BMW コネクテッド、コネクテッド・ドライブ	18
最新のデジタル技術でドライバーの暮らしを シームレスに統合	18

新型 BMW X5

市場導入時のモデル・バリエーション



BMW X5 xDrive40i:

直列 6 気筒ガソリン・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション
排気量: 2,998 cc、最高出力: 250 kW[340 ps]/5,500~6,500 rpm、
最大トルク: 450 Nm/1,500~5,200 rpm、
加速性能[0~100 km/h]: 5.5 秒、
最高速度: 243 km/h、
複合モード燃費*: 8.8~8.5 リッター/100 km、
複合モード CO₂ 排出量*: 200~193 g/km、排出ガス規制: EU6d-TEMP

BMW X5 xDrive50i(ヨーロッパは導入せず):

V8 ガソリン・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション
排気量: 4,395 cc、最高出力: 340 kW[462 ps]/5,200~6,000 rpm、
最大トルク: 650 Nm/1,500~4,750 rpm、
加速性能[0~100 km/h]: 4.7 秒、
最高速度: 250 km/h、
複合モード燃費*: 11.6 リッター/100 km、
複合モード CO₂ 排出量*: 264 g/km

BMW X5 xDrive30d:

直列 6 気筒ディーゼル・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション
排気量: 2,993 cc、最高出力: 195 kW[265 ps]/4,000 rpm、
最大トルク: 620 Nm/2,000~2,500 rpm、
加速性能[0~100 km/h]: 6.5 秒、
最高速度: 230 km/h、
複合モード燃費*: 6.8~6.0 リッター/100 km、
複合モード CO₂ 排出量*: 179~158 g/km、排出ガス規制: EU6d-TEMP

* 性能、燃費、CO₂ 排出量に関するすべての数字は暫定値です。

BMW X5 M50d:

直列 6 気筒ディーゼル・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション

排気量: 2,993 cc、最高出力: 294 kW[400 ps]/4,400 rpm、

最大トルク: 760 Nm/2,000~3,000 rpm、

加速性能[0~100 km/h]: 5.2 秒、

最高速度: 250 km/h、

複合モード燃費*: 7.2~6.8 リッター/100 km、

複合モード CO₂ 排出量*: 190~179g/km、排出ガス規制: EU6d-TEMP

* 性能、燃費、CO₂ 排出量に関するすべての数字は暫定値です。

燃費、CO₂ 排出量、電力消費量は規定の測定方式 VO(EU)2007/715(それぞれ有効な版)に従って測定されています。これらの値はドイツにおける基本装備の車両に対するもので、数値範囲はホイール／タイヤの種類及び装着されたオプション機器による差異を考慮したものであります。構成プロセス中に変化する場合があります。

(*)で示した車両に関する数値は、新しいWLTP テスト・サイクルに基づく測定値を比較のため NEDC に換算したものです。これらの車両については、税その他の CO₂ 排出量が考慮される課金の評価に際して、ここに示した値とは異なる数値が該当することがあります(国別法規によって異なります)。

CO₂ の効率性を表す数値は、最新版の 1999/94/EC ガイドラインおよび Pkw-EnVKV(乗用車のエネルギー消費量の表示に関する指令)によるもので、分類には NEDC による燃費および CO₂ 排出量の値を使用しています。

公式の燃料消費率および CO₂ 排出量に関する更に詳細な情報は「新車乗用車の燃料消費率・CO₂ 排出量・電流消費率に関するガイドライン」(Leitfaden über den Kraftstoffverbrauch, die CO₂-Emissionen und den Stromverbrauch neuer Personenkraftwagen)に掲載されています。この資料はすべての販売店および <https://www.dat.de/angebote/verlagsprodukte/leitfaden-kraftstoffverbrauch.html> から無料で入手できます。

車両コンセプトおよびデザイン BMW X ファミリーの礎となったモデル



BMW のプレミアムなキャラクターと高い運動性能に、優れたオフロード性能と不安定な路面での卓越したパフォーマンスを融合させる。BMW は約 20 年前にこのようなコンセプトを打ち出し、まったく新しいセグメント「スポーツ・アクティビティ・ビークル (SAV)」を世に送り出しました。その最初のモデルが BMW X5 でした。このクルマは BMW X ファミリーの基礎を築いたモデルであり、今日まで、プレミアム AWD モデル・セグメントにおけるマーケット・リーダーの座を守り続けています。

BMW X5 は、過去三世代のモデルで合計 2,200 万台以上が販売されました。新世代モデルとなった新型 BMW X5 は、デザインとテクノロジーの両面から新たなインパクトを与えます。新型 BMW X5 も、米国サウスカロライナ州のスパータンバーグ工場で生産されます。BMW X モデルのコンピテンス・センターであるこの生産拠点は、BMW X3、BMW X4、BMW X6 の各モデルの誕生の地でもあり、やがて BMW X7 もここで生産されます。

新しいデザイン手法でたくましさと卓越した力強さを表現

新型 BMW X5 の車両サイズは、先代モデルと比べてホイールベースが 42 mm 長く 2,975 mm に、全長が 36 mm 長く 4,922 mm に、全幅が 66 mm 幅広く 2,004 mm に、全高が 19 mm 高く 1,745 mm になったことで圧倒的な存在感と、乗員と荷物のための十分なスペースを確保しました。SAV の特徴的なプロポーションを受け継ぎながら、デザイン的特徴を控え目にすることで、くっきりとした面構成と正確なラインによるたくましさ、エレガントな外観、卓越した力強さを強調しています。力強さを増したエンジンフード、フロントのショート・オーバーハング、六角形デザインのホイール・ハウス、ダイナミックに流れるルーフ・ラインは、スポーティーで且つたくましい新型 BMW X5 の特徴を表しています。

BMW グループ・デザインを率いるエイドリアン・ファン・ホーデンクは、次のように語っています。「BMW X5 は BMW の X ファミリーのルーツを体現しており、四世代目となるこのモデルでは存在感と現代性を極めて強く表現しています。このクルマは、たくましさ、明確さ、正確性という X モデルの新しいデザインを明確に表現しています。」

フロント・エンドで目を引く特徴は、一体式のフレームで囲まれた大きな BMW キドニー・グリルです。新型 BMW X5 には LED ヘッドライトが標準装備されます。オプションでアダプティブ LED ヘッドライト付き BMW レーザー・ライトが用意されます。このシステムの場合、セレクティブ・ビーム付き BMW レーザー・ライト・スポットによりハイ・ビーム機能を最適化しており、幻惑防止式ハイ・ビームの照射距離は約 500 m に達します。特徴的な片側 2 灯式ヘッドライト内部の六角形の光源を分割するブルーの X 形エレメントが、視覚的に際立ったアクセントを添えます。

後部ドアから立ち上がるボディー側面の正確なキャラクターラインは、新型 BMW X5 の洗練された外観に大きく寄与しています。これが力強いショルダー部分を明確化し、さらにサイド部へと回り込んだテール・ライトに合流します。リヤの光源もすべて LED を採用しています。立体的なデザインのカバー・ガラスは、彫刻仕上げのような印象を与えます。対角線状に描かれるアクセント・ラインが、リヤ・エンドをコンパクトでたくましく見せています。

モデル・バリエーションの xLine と M Sport、オプションの BMW Individual

モデル・バリエーションの xLine と M Sport は、個性的なデザインが際立ちます。xLine モデルのエクステリアは、マット・アルミニウム仕上げのキドニー・グリル・バー、サテン・アルミニウム仕上げのアンダー・ガード、ルーフ・レールおよびサイド・ウインドウ・フレームの他、パール・エフェクト・クロームのアクセントが、新型 BMW X5 のオフロード・キャラクターを強調します。M Sport モデルは、ホイール・アーチ・トリム、バンパー・トリム・パネル、リヤ・アンダー・ガード、サイド・スカートがボディーと同色で塗装されます。また、フロント・エンドの特大エア・インテーク、マット・アルミニウム仕上げのキドニー・グリル・バー、さらにルーフ・レール、サイド・ウインドウ・フレーム、その他のハイグロス・ブラックのトリム・エレメントが SAV のダイナミックな運動性能を表現しています。

新型 BMW X5 には、18 インチのアロイ・ホイールが標準装備されます。xLine モデルは 19 インチのアロイ・ホイールを、M Sport モデルはダブル・スポーク・デザインの 20 インチ M アロイ・ホイールを装備しています。その他のサイズ・バリエーションとして 18~22 インチがオプションで用意されます。

インテリアおよび装備品

特別なドライビング・エクスペリエンスのための 洗練された雰囲気



新型 BMW X5 のインテリアは、明確に構成され、現代的でありながらエレガントなサーフェス・デザインが、広々とした乗車空間を演出しています。前席でも後席でも、乗員は特別な雰囲気のゆとりあるスペースを堪能することができます。ダッシュボードを分割するように長く伸びる水平なラインは、高級感あふれるマット・アルミニウムのトリム・エレメントと共にインテリアの幅広さを強調しています。大きな面積のインテリア・トリムとマット・アルミニウム仕上げのサラウンド、さらにダッシュボードへ向かって上昇するセンター・コンソールなども、インテリアに漂う優美な印象を引き立てています。

高めのシート・ポジション、ドライバー重視のコックピット・レイアウト、各部の位置が把握しやすくなった操作系の新しいデザインおよびレイアウトにより、運転時の操作性が格段に向上了っています。フル・デジタル表示のメーター・パネルとコントロール・ディスプレイは、互いに一貫性のあるデザインで、グラフィック表示についても統一感があります。センター・コンソールにはコントローラーや新たにデザインのギヤ・セレクター・スイッチに加え、ドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチ、スタート/ストップ・ボタン、オプションのエア・サスペンションの設定やオフロード・モード用のスイッチなど、走行に関連するすべての機能の操作部が配置されています。ヒーター/エア・コンディショナーの操作パネルも同じく新デザインとなっています。新型 BMW X5 では、ライト機能もボタン式になっています。

インテリアのために入念に選び抜かれた素材には、標準仕様のレザー用に新しいバリエーションの「ヴェルナスカ」も加わりました。これには、オプションで選択できる BMW Individual レザーのメリノと同様に 5 つのカラー・バリエーションが用意されています。新型 BMW X5 にはヒーター付き電動調節式スポーツ・シートが標準装備されます。オプションで、運転席と助手席にマッサージ機能およびシート・ベンチレーションが付いたマルチ・ファンクション・シートが用意されています。

より個性的なインテリア・デザインの xLine および M Sport

xLine と M Sport の各モデル・バリエーションに施された専用のデザインは、インテリアにさらに個性的な魅力が加味されています。

xLine モデルは堅牢さと豪華な雰囲気を強調したインテリアです。M Sport はダイナミックな走行体験をより実現したモデルです。

どちらの装備仕様も、それぞれシート・表面に個性的なコントラスト・ステッチを施し、照明付きエントランス・ストリップを装備し基本モデルとの違いを際立たせています。M Sport モデルの装備には、M スポーツ・ステアリング・ホイール、アンソラジットの BMW Individual ルーフ・ライナー、M 専用仕様のペダル、運転席フットレスト、シート・パイピング、アルミニウム・テトラゴン仕様の専用インテリア・トリムが含まれます。

心地良さと高級感をもたらす革新的なアイデア

BMW X5 のインテリアは最高の心地良さと高級感に満たされています。これには、新たに採用された 4 ゾーン・エア・コンディショナーと、先代モデル比で採光面積を約 30 パーセント拡大したパノラマ・ガラス・サンルーフが貢献しています。パノラマ・ガラス・ルーフのスカイ・ラウンジは、夜間、ガラス・パネルに導かれた LED の光が 15,000 個以上ある点状のグラフィック・パターンに投射されて星空のように輝き、上質な雰囲気を演出します。この趣ある照明の光の色は、好みに応じて変更することができます。オプションのアンビエント・ライトの機能範囲には、ドア・ロックを解除したときやドアを開けたときに足元付近を照らすウェルカム・ライト・カーペットの他、たとえばエンジン作動中にドアを開けたときにドア・トリム付近で点滅する、電話の着信があったときにダッシュボード周りで点滅するなど、予め定義された状況でライトを点滅させてシグナルを送るダイナミック・インテリア・ライトが含まれています。

アンビエント・エア・パッケージは、選択可能な 8 つのアロマ・バリエーションでインテリアの空気をイオン化し、芳香効果をもたらします。上質なサウンド・システムとして、20 個のスピーカーと 1,500 ワットの出力のアンプで構成される Bowers & Wilkins ダイヤモンド・サラウンド・サウンド・システムを用意しています(2018 年 12 月以降に提供予定)。オプションの後席エンターテイメント・プロフェッショナル(2018 年 12 月以降に提供予定)には、10.2 インチの大型フル HD タッチ・ディスプレイが 2 つ、ブルーレイ対応 DVD ドライブ 1 つ、USB ポート 2 個、HDMI 接続部 1 個、ヘッドフォン接続部 2 個が含まれます。このシステムで、新しい表示および操作コンセプトによるエンターテイメント機能の選択や操作が行えます。後席乗員は、自分の座席のメディア・ソースだけでなく、前席で使用しているメディア・ソースにもアクセスすることができ、さらにナビゲーション・マップや BMW コネクテッド・ドライブ・サービスも利用可能です。

その他、新型 BMW X5 にはセンター・コンソール前側に初めてサーモ・カップ・ホルダーが装備されます。ここに収納する容器は、冷たい状態または温かい状態を維持することができます。オプション装備として一部の操作部に適用可能なガラス・アプリケーションも、インテリアにかつてない新しいアクセントを添えます。この上質なデザインの装備品は、ギヤ・セレクター・スイッチ、コントローラー、スタート/ストップ・ボタン、オーディオ・システムの音量調節スイッチに装備されます。

多彩な機能性: 2 ピース式テールゲート、3 列目シート

快適性、独自性と同様に、新型 BMW X5 の機能もさらに向上しています。645 リッターのラゲッジ・ルーム容量は 40:20:40 分割可倒式リヤ・シート・バックレストを折りたたむと、最大 1,860 リッターまで拡張できます。新型 BMW X5 でも 2 ピース式テールゲートを採用し、荷物の出し入れを快適に行えます。オプションのコンフォート・アクセス・システムと連携されれば、両方のフラップを自動で、接触することなく開/閉することができます。さらに、ラゲッジ・ルーム・カバーを電動でラゲージ・ルーム・フロアまで下げるができるようになります(2018 年 12 月以降に提供予定)。

06/2018
Page8

オプションの 3 列目シート(2018 年 12 月以降に提供予定)とセットで、前後方向に電動調節可能なりヤ・シートが提供されます。ラゲッジ・ルームの操作スイッチで、2 列目シートのスライド調節や 2 列目／3 列目シートのバックレストの折りたたみが可能です。3 列目シートの左右両側シートの乗り降りをより快適にするため、2 列目シートを電動で前方に倒すことができます。

パワートレインおよびドライビング・エクスペリエンス 好みに合わせて運動性能や快適性を高める 革新性



新型 BMW X5 の市場導入時には、最新世代のガソリン・エンジン 2 種類、同じくディーゼル・エンジン 2 種類を用意します。モデル・プログラムのトップは BMW X5 xDrive 50i(ヨーロッパは導入せず)で、広範囲にわたってさらに進化した V8 エンジンがデビューを果たします。また、発売と同時に BMW M Performance モデルが用意されます。BMW X5 M50d は、4 基のターボ・チャージャーを備えた直列 6 気筒ディーゼル・エンジンを搭載しています。さらに、2 つの直列 6 気筒エンジンを搭載した BMW X5 xDrive40i と BMW X5 xDrive30d が加わります。すべてのエンジン・バリエーションで、駆動力伝達は 8 速ステップトロニック・トランスミッションを通じて行われます。また、インテリジェント四輪駆動の BMW xDrive が、舗装路でもオフロードでも、駆動力を適切に路面へと伝えるための手助けを行います。

ガソリン・エンジンの BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーは、ターボ・チャージャー、高精度ダイレクト・インジェクション・システム、無段階可変バルブ・タイミング制御システムのバルブトロニック、可変カムシャフト制御システムのダブル VANOS で構成されます。ディーゼル・エンジンは、ターボ・チャージャーとコモンレール式ダイレクト・インジェクション(ピエゾ・インジェクター使用)のテクノロジー・パッケージで構成されます。どちらのエンジンも、瞬時のけん引力とスポーティーなパフォーマンスに、模範的な燃費および排出ガス性能の両方を持ち合わせています。すべてのエンジン・バリエーションが EU6d-TEMP 排出ガス規制をクリアしています。ガソリン・エンジンのエミッション・コントロールには、粒子状物質の排出を最小限に抑えるガソリン微粒子フィルターが装着されています。ディーゼル・モデルには、BMW ブルー・パフォーマンス・テクノロジーを装備し、これには微粒子フィルター、酸化触媒コンバーターおよび NO_x 吸収触媒コンバーターの他、窒素酸化物の排出量を削減する AdBlue 噴射式 SCR 触媒コンバーターも含まれています。

比類ないパワー、特徴的なサウンド:新型 V8 エンジン

基本的にクランクケースからエンジン・マネージメントに至るまで改良された BMW X5 xDrive50i(ヨーロッパは導入せず)の 8 気筒エンジンの魅力は、圧倒的な出力特性と特徴的なエンジン・サウンドにあります。4.4 リッターの大排気量エンジンの注目すべき特徴は、シリンダー・バンク間の V 字セクションに配置されたターボ・チャージャーです。新設計の断熱プレートは、クランクケースとシリンダー・ヘッドの間で極めて効率的な断熱効果があります。新しいイグニッショングリーン・システムは、オート・スタート・ストップ機能を快適に使用できるよう最適化されています。

この新型エンジンは、1,500～4,750 rpm の広いエンジン回転域で最大トルク 650 Nm を発生します。さらに 5,250～6,000 rpm の回転域で最高出力 340 kW[462 ps]を維持します。トルクの立ち上がりが早く、しかもピークが持続するため、0-100 km/h 加速性能はわずか 4.76 秒です。新型 BMW X5 xDrive50i の場合、複合モード燃費が 11.6 リッター/100 km*、排出ガス値が 264 g/km*です。

独特的の滑らかな回転を実現した直列 6 気筒ガソリン エンジン

BMW の直列 6 気筒エンジン特有の滑らかな回転と素早いレスポンスが、新型 BMW X5 xDrive40i に搭載されるパワー・ユニットの特徴です。3.0 リッターの大排気量エンジンは、ツイン・スクロール・ターボ・チャージャーと、最大噴射圧 350 bar で高精度の燃料供給を実現したダイレクト・インジェクション・システムを備えています。この直列 6 気筒エンジンの最高出力は 250 kW[340 ps]/5,500～6,500 rpm、最大トルクは 450 Nm/1,500～5,200 rpm です。

新型 BMW X5 xDrive40i は停止状態から 5.5 秒で車速 100 km/h に達します。平均燃費は 100 km 走行あたり 8.8～8.5 リッター*で、CO₂ 排出量は 1 km 走行あたり 200～193 g*です。

極めてパワフルなディーゼル・エンジンを搭載した BMW M Performance モデル

新型 BMW X5 M50d に搭載されたトップ・レベルのディーゼル・エンジンは、このクルマに並外れた走行特性をもたらします。この BMW M Performance モデルに搭載される直列 6 気筒エンジンは、排気量 3.0 リッターで最高出力 294 kW[400 ps]/4,400 rpm、最大トルク 760 Nm/2,000～3,000 rpm を発生します。

この数値は、2 つの高圧ターボ・チャージャーと 2 つの低圧ターボ・チャージャーによるマルチステージ過給システムによって実現しました。この設計原理により、エンジン低回転域からでも極めて素早くブースト圧が形成されます。その結果、トルクは低回転域からでも素早く立ち上がり、1,000 rpm すでに 450 Nm 以上のトルクを発生します。通常の走行状況では、低圧ステージの 2 つのターボ・チャージャーと高圧用ターボ・チャージャー 1 つが常時作動しています。もうひとつの高圧ステージ用ターボ・チャージャーは、エンジン回転数が 2,500 rpm を超えると駆動されます。アイドリング状態から一気に高負荷への要求が出された場合、フラップ・コントロールにより 2 つの低圧ターボ・チャージャーが短時間バイパスされ、より素早く最高ブースト圧を生成します。ターボ過給システムの効率性を高めるため、高圧ステージにも低圧ステージにも作用する排気ガス再循環システムを採用しています。この革新的なマルチステージ過給システムが、最高噴射圧 2,500 bar 以上を達成したコモンレール式ダイレクト・インジェクションと組み合わされています。燃料を正確に計量し、きめ細かい霧状にして噴射するこのシステムは、エンジンの効率性と排気ガス特性を最適化します。新型 BMW X5 M50d は、静止状態から 5.2 秒で 100 km/h に達します。これほどのスポーティーな走行性能を、100 km 走行あたり 7.2～6.8 リッター*という複合モード燃費と、1 km 走行あたり 190～179 g*という CO₂ 排出量で実現しています。

燃費、CO₂排出量、電力消費量は規定の測定方式 VO(EU)2007/715(それぞれ有効な版)に従って測定されています。これらの値はドイツにおける基本装備の車両に対するもので、範囲はホイール／タイヤの種類及び装着されたオプション機器による差異を考慮したものであり、構成プロセス中に変化する場合があります。

効率的でパワフル:BMW X5 xDrive30d のディーゼル・エンジン

もうひとつの直列 6 気筒ディーゼル・エンジンが、新型 BMW X5 xDrive30d に搭載されています。同じく 3.0 リッターの大排気量エンジンには、可変インテーク・ジオメトリー式ターボ・チャージャーと最大噴射圧 2,500 bar で燃焼室に直接燃料を噴射するコモンレール式ダイレクト・インジェクションが組み合わされています。このパワー・ユニットは、最高出力 195 kW[265 ps]/4,000 rpm、最大トルク 620 Nm/2,000~2,500 rpm を発生します。

新型 BMW X5 xDrive30d のパワー・ユニットも大トルクと効率性という二つの優れた特性があり、静止状態から 6.5 秒で 100 km/h まで加速します。新型 BMW X5 xDrive30d の複合モード燃費は 100 km 走行あたり 6.8~6.0 リッター*で、CO₂ 排出量は 1 km 走行あたり 179~158 g*です。

シフト特性を向上させた 8 速ステップトロニック・トランスミッション

新型 BMW X5 に搭載されるエンジンには、すべてにさらに進化を遂げた 8 速ステップトロニック・トランスミッションが組み合わされます。この最新世代のトランスミッションは、ギヤ比の幅を拡大し、新しい電子制御コントロール・ユニットを採用してドライブトレインの総合的な効率を引き上げています。新しいトーション・ダンパーは、回転ムラとコンバーター・スリップを低減することで快適がを向上しました。最適化された油圧コントロールが、よりスポーティーなギアシフトが可能になりました。

効率を最適化した四輪駆動システム xDrive とファイナル・ドライブの制御式ディファレンシャル・ロックによる完璧な駆動力配分を実現

新型 BMW X5 のインテリジェント四輪駆動システムも、最高レベルのトラクション、俊敏な走り、優れた走行安定性を実現します。この最新世代の BMW xDrive は、前後アクスルへの駆動トルク配分を、状況に応じてより正確かつ迅速に行います。また燃費向上のため、四輪駆動で走行する必要のない状況では駆動力をすべてリヤ・アクスルに供給できます。

さらに、この新しい xDrive システムは、極めてダイナミックな走行状況においてもリヤの駆動を重視したセットアップで走行します。ファイナル・ドライブの制御式ディファレンシャル・ロックで、よりスポーティーなハンドリングが可能です。(M Sport とオフロード・パッケージとの組み合わせが必要)このディファレンシャル・ロックはカーブ走行時、コーナーの内側と外側のホイールの回転数差を制限し、ダイナミックな走行状況でのトラクションを最適化します。そのため新型 BMW X5 は、コーナー出口からとりわけダイナミックに加速することができます。ドライビング・スタビリティ・コントロールロール(DSC)システムによって制御されるリヤ・ディファレンシャル・ロック機能は、オフロード走行や後輪の左右で摩擦係数が異なる路面を走行する際に駆動力伝達とトラクションを最適化し、グリップ力を失っているホイールの空転を抑制します。電気モーターによって生成されるロッキング・エフェクトは最大 1,500 Nm の駆動トルクを、回転が速い方のホイールから回転が遅い方のホイールへと伝達することができます。

新しいサスペンション・システムがオフロード性能、スポーツ性、快適性を向上

ダブル・ウィッシュボーン式フロント・アクスルと 5 リンク式リヤ・アクスルを装備したサスペンションの設計原理は、不安定な路面での優れた牽引力を発揮し、ダイナミックレスポンスとドライビングでの快適な乗り心地を実現します。この SAV はダイナミック・ダンパー・コントロールを標準装備しています。この電子制御ダンパーは、走行快適性とサスペンション快適性を向上させるだけでなく、運動性能も向上させます。ドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチには、快適性重視の走行用、あるいはスポーティな走行用の 2 つのパフォーマンスマップ選ぶことができます。新型 BMW X5 M50d は、サスペンションの運動機構と弾性運動機構、スプリングとダンパーに専用セットアップが施され、21 インチ M アロイ・ホイールに前後ミックス・サイズ・タイヤを標準装備しています。これらの装備により、俊敏性とステアリング精度を向上させ、より高いコーナリング速度を可能にし、さらに BMW M Performance モデルの過渡特性を最適化しています。

BMW X モデルに初めて採用され各種サスペンション・システムにより、新型 BMW X5 のオフロード性能、スポーツ性、快適性はかつてないほど効果的に向上しています。特に俊敏でダイナミックな走行特性に貢献するのが、アクティブ・アンチロール・スタビライザーとインテグレイティッド・アクティブ・ステアリングを備えたアダプティブ M サスペンション・プロフェッショナルです。電動スイベル・モーターで作動するアンチロール・スタビライザーは、ダイナミックなコーナリング時に横方向の傾きを極めて素早く正確に補正します。これにより、ステアリングの切り初めの俊敏性と走行安定性が向上し、かつコーナー出口でトラクションを最適化した加速が可能です。さらにこのシステムは、路面の起伏によって生じる片側の車輪への干渉をアクティブに相殺することもでき、直進走行時の快適性を向上させます。個別オプションとして用意されるインテグレイティッド・アクティブ・ステアリングも電気機械式です。車速に応じてリヤ・ホイールを同位相または逆位相に操舵する四輪操舵システムにより、コーナーでの俊敏性、車線変更時の操舵性、市街地走行での旋回能力が最適化されます。その結果、インテグレイティッド・アクティブ・ステアリング装備車は、狭い駐車スペースへの出し入れがしやすくなり、高速での追越しの際の走行安定性を向上します。

走行快適性の向上という要望に関しては、オートマチック・セルフ・レベリング機能付き 2 アクスル・エア・サスペンションが解決します。プレッシャー・キュムレーター付き電動コンプレッサーからのサスペンションへの空気圧供給はホイールごとにコントロールされ、アンバランスな積載状態も補正することができます。走行を安定化させるダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) とサスペンションを連携させることで、エア・サスペンションのセンサーで検知した積載状態がブレーキ・コントロールの際にも考慮されます。走行モードで SPORT を選択したとき、車速が 138 km/h を超えたときは、自動的に車高が 20 mm 下がります。また、ドライバーがコックピットのボタンを押して地上高を変えることができ、オフロード走行などの際、標準位置から 2 段階、最大 40 mm まで上昇させることができます。さらにラゲッジ・ルームのボタンで積載モードをオンにすれば、車両が 40 mm 下がります。再発進したとき、システムは最後に選択されたモードに自動で戻ります。車高の調整は、エンジンが作動していないときでも行えます。この調整は、車両に装備されたボタンだけでなく、オプションの BMW ディスプレイ・キーからでも可能です。

06/2018
Page15

BMW X モデル用に初めて、オフロード・パッケージが提供されます。車両のフロント・エンド／リヤ・エンドに装備される堅牢なアンダー・ガードの他、2 アクスル・エア・サスペンションとファイナル・ドライブの制御式ディファレンシャル・ロックが組み合わされるオフロード・パッケージは、BMW X5 M50d を除くすべてのモデル・バリエーションに用意されます。また、装備内容にはメーター・パネルとコントロール・ディスプレイの専用表示、4 つのドライビング・モードを選択するためのセンター・コンソールの追加ボタンも含まれます。これにより、砂地、岩地、砂利、雪上といった状況に合わせて、車高、xDrive システム、アクセル・ペダル特性曲線、トランスミッション・コントロールに対し、またダイナミック・スタビリティ・コントロール DSC の制御介入に対して理想的なセットアップを選択できます。

ドライバー・アシスタント・システム

自動運転に向けた着実な進歩



新型 BMW X5 は先代モデルと比較してドライバー・アシスタント・システムの選択肢が大幅に増え、安全性と快適性をより向上させたといえます。新しいシステムは、カメラ画像やレーダー・センサーで収集したデータを処理し、様々な状況においてドライバーをより強力にサポートします。これらは BMW Personal Co-Pilot(パーソナル・コ・パイロット)の構成要素として、自動運転に向けて着実に歩を進めていることを示しています。

新型 BMW X5 には、ブレーキング機能付きクルーズ・コントロールの他、自転車に乗る人も検知してドライバーに注意を促すことができる前車接近警告および衝突回避・被害軽減ブレーキが標準装備されています。オプションのストップ＆ゴー機能付きアクティブ・クルーズ・コントロール(ACC)は、車両が停止するまで自動でブレーキをかけ、再び自動で発進することができます。渋滞時の快適性を高めるために、停止から自動再発進までの時間が 30 秒まで延長されています。さらにシステムは、追越し禁止表示機能付きスピード・リミット・インフォで検出した道路標識の制限速度を、15 km/h 以下の偏差で自動的にクルーズ・コントロールに取り込むことができます。

安全性と快適性のための包括的なパッケージ:ドライビング・アシスタント・プロフェッショナル
オプションのドライビング・アシスタント・プロフェッショナルには、渋滞アシスタント付きステアリング＆レーン・コントロール・アシスタントとアクティブ・サイド・コリジョン・プロテクション付きレーン・キーピング・アシスタントが含まれます。高速道路や中央分離帯のある幹線道路でステアリング＆レーン・コントロール・アシスタントを使用すると、車線変更を開始したいときに方向指示器のレバーをワンタッチ・ポジションでしばらく保持するだけでレーン・チェンジ・アシスタントを作動させることができます。隣の車線が空いていて、そこに高速で接近する他の車両がないことをセンサーが検出すると、ステアリング・アシスタントはドライバーが快適に車線変更できるようにサポートします。システムのその他の構成要素として、衝突回避アシスタントがあります。これは、突然現れた車両や歩行者との衝突を避けるのに役立ちます。衝突を回避すべき兆候を検出した場合、システムはステアリング・コントロールへの介入によってドライバーをサポートし、空いている隣の車線へ車両を回避させます。

安全性と快適性のための包括的なパッケージとしては、これらの他にも様々なアシスタント・システムが含まれます。クロス・トラフィック・ウォーニング(交差交通警告)は、見通しの効かない道路に前進または後退で進入する際の衝突の危険を低減します。さらにドライビング・アシスタント・プロフェッショナルには、リア・コリジョン・ウォーニング(後面衝突警告)、優先違反警告、進入違反警告、レーン・チェンジ・ウォーニング(車線変更警告)の各システムが含まれます。最新のレーン・ディバーチャー・ウォーニング(車線逸脱警告)システムは、元の車線へ車両を戻すことを促すアクティブ・ステアリング入力機能も含まれています。

緊急時に積極的に支援:エマージェンシー・ストップ・アシストが新登場

安全関連システムの分野での新しいシステムとして、ドライビング・アシスタント・プロフェッショナルの構成要素にもなっているエマージェンシー・ストップ・アシストがあります。これは、ドライバーが医学的な理由から突然車両の運転を続けることができなくなった場合に使用するもので、電気式パーキング・ブレーキのボタンを引くと作動します。エマージェンシー・ストップ・アシストは、走行状況と周囲の状況に応じて車両を現在走行中の車線で停止させるか、または路肩や待避所に停止させます。車線変更が必要な場合は、70~100km/h の車速域で走行中であれば自動的に車線変更を行います。システムは同時にハザード・フラッシュを点滅させ、インテリジェント・エマージェンシー・コールがコール・センターと接続し、エマージェンシー・サービスに緊急事態を知らせます。

駐車スペースへの快適な出し入れ:パーキング・アシストとパーキング・アシスト・プラス

駐車スペースへクルマを出し入れする際にドライバーを支援するため、その他にも多くのアシスタント・システムの機能範囲が拡張されました。新型 BMW X5 には、フロントとリヤにセンサーを装着したパーク・ディスタンス・コントロール(PDC)が標準装備されます。

新型 BMW X5 のパーキング・アシストでは、縦列駐車をするスペースを自動的に選択して駐車することができます。自車が通過する際に、道路脇の駐車スペースを超音波センサーで検知します。これを作動させるには、センター・コンソールの該当するボタンを押すだけです。これによりシステムは、駐車するために必要な加速、減速、操舵、シフトの各操作を引き継ぎます。

他に類を見ない正確なガイダンス:リバース・アシスト

BMW の自動運転へ向けた歩みは、リバース・アシストによってさらに前進します。駐車スペースから出るときや狭いスペースで操車する際、このシステムはこれまで自動車業界では見られなかったタイプのサポートを提供します。リバース・アシストは、車両が最後に前進した距離を反対方向に進む際のステアリング操作を引き受けます。新型 BMW X5 のドライバーは、最長 80 m の距離を、極めて快適な方法で後退することができます。その際ドライバーが集中すべきは、加速、減速、周囲の監視のみとなります。車両停止状態でギア・セレクターが P 位置に入っているとき、ボタンを押すとシステムが作動を開始します。システムは、最後に前進した軌跡のステアリングの動きを長期間記憶しています。そのため新型 BMW X5 のリバース・アシストは、例えば昼間、前向きに駐車した位置から後退しながら出すことができます。

ドライバーは、周囲を見渡せる完璧な視界を確保するため、リヤ・ビュー・カメラの他、パーキング・アシスト・プラスに含まれるトップ・ビューや車両とその周囲360°の画像をコントロール・ディスプレイに表示するパノラマ・ビューが使用できます。加えて、ドライバーは Remote 3D View を使い車両周りの三次元のライブ映像をスマートフォンから確認できます。

表示および操作システム、BMW コネクテッド、 コネクテッド・ドライブ

最新のデジタル技術でドライバーの暮らしを シームレスに統合



新型 BMW X5 の BMW ライブ・コックピット・プロフェッショナルは、新しい表示および操作コンセプトと高度なネットワーク化を 1 つのパッケージにまとめたものです。この最新世代の表示および操作コンセプトは、ステアリング・ホイールの向こう側にある画面サイズ 12.3 インチの高解像度メーター・パネルと、同じく 12.3 インチの大画面コントロール・ディスプレイに採用されています。

最新の BMW オペレーティング・システム 7.0 を搭載した最新世代のディスプレイおよび操作のコンセプトは最新の完全デジタルデザインを採用しており最適な注意制御(アテンション・コントロール)ができるように、ドライバーごとの異なるニーズをより強く重視しています。わかりやすい表示や構成、またカスタマイズ可能なディスプレイは、ドライバーに常に適切な情報を、適切なタイミングで提供できるように考えられています。そのためメーター・パネルに表示される新デザインのグラフィック・ディスプレイには、ナビゲーションの地図を表示できるエリアがあります。コントロール・ディスプレイは最大 10 ページのメイン・メニューが表示され、各メイン・メニューには 2~4 個のタイル(ライブ・コンテンツ式)が並べられます。ドライバーと車両間の直観的なマルチモーダル・インターフェクションも、さらに最適化されました。ユーザーは、状況に応じてコントロール・ディスプレイのタッチ操作、iDrive タッチ・コントローラー、ステアリング・ホイールの操作部、音声入力、BMW ジェスチャー・コントロールから適切な操作方法を選択できます。

BMW ライブ・コックピット・プロフェッショナルの構成要素には、さらに学習型ナビゲーション・システム、ハードディスク記録式マルチメディア・システム(メモリー容量 20 GB、USB 接続端子 2 個、Bluetooth インターフェース、Wi-Fi インターフェース付き)があります。個人用の車両キーまたは BMW デジタル・キーを使用するか、あるいはコントロール・ディスプレイでユーザーを選択し識別番号(PIN)を入力することで、個人設定を呼び出すためのドライバー識別が行われます。

ドライバーは車載の SIM カードを通じて、データ量の制限無く、車両のインテリジェント・ネットワークによる特典を得られます。たとえばニュース、天気、Office、オンライン検索などの車載アプリが利用できるだけでなく、緊急時に自動的に救援を要請するインテリジェント・エマージェンシー・コールやナビゲーション・システムの地図データの定期的なアップデートも行えます。

新型 BMW X5 では初めてデジタル・サービスも統合され、コネクテッド・パッケージ・プロフェッショナルとして提供されます。これにより顧客は、車両用のシンプルで極めて魅力的なデジタル・サービスを選ぶことができるようになりました。これは新型 BMW X5 の注文時でも、これだけ後から注文することもできます。コネクテッド・パッケージ・プロフェッショナルには、リモート・サービス、コンシェルジュ・サービス、リアルタイム交通情報が含まれます。デジタル・サービスは、その後いつでも、個別にコネクテッド・ドライブ・ストアを利用して申し込めます。

BMW コネクテッド: パーソナル・モビリティのためのデジタル・サービス

BMW コネクテッドは BMW のドライバーのためのデジタル・パーソナル・モビリティ・アシスタントです。インテリジェント・ネットワークは、車内でも車外でも、目的地へ快適に、ストレスなく到着できるようドライバーをサポートします。BMW コネクテッドの統一コンセプトとして、ドライバーとスマートフォンをシームレスに車両と結びつけるデザインがなされています。

その中核を成すのがオープン・モビリティ・クラウドです。これによりパーソナル・モビリティ・アシスタントが車両と顧客の持つデジタル端末をネットワークで結びます。端末として使用できるのは、iPhone や Apple Watch、ならびに Android オペレーティング・システムを搭載したスマートフォンやスマート・ウォッチ、Alexa 機能を備えたスマートデバイスや Google Home です。BMW コネクテッド・アプリは、例えば顧客のカレンダーから直接スケジュールや住所をナビゲーション・システムに取り込み、目的地までの案内を始めることができます。さらにシステムは、リアルタイムの交通情報に基づき、その時点で最適な出発時刻を算出し、ドライバーのスマートフォンに送信します。同じくオープン・モビリティ・クラウドでネットワーク化されている車両のナビゲーション・システムが起動すると、予め算出したルートを直接案内します。さらに BMW コネクテッドは、定期的に行く場所や個人的な移動パターンを自動的に記憶します。

新型 BMW X5 に初登場: BMW デジタル・キー

デジタル・キーを使用することで、近距離通信(NFC)を使ってスマートフォンから車両のロック/ロック解除ができるようになります。これにより従来の車両キーは必要なくなります。スマートフォンをドア・ハンドルに近づけるだけで車両のロックが解除されます。スマートフォンをワイヤレス充電トレイまたはスマートフォン・トレイに置くと、自動的にエンジンが始動します。

BMW コネクテッド・アプリを使用するデジタル・キーは、さらに機能を拡大し、最大で 5 人のドライバーがデジタル・キーを共有することができます。BMW デジタル・キーは、市場導入時、特定の NFC 対応スマートフォン用に提供されます。

常に最新状態:リモート・ソフトウェア・アップグレード

リモート・ソフトウェア・アップグレードにより、車両のソフトウェアは常に最新の状態に保たれます。すべてのアップデートは、スマートフォンで通常行われているようにワイヤレスでダウンロードすることができます。アップデートは、BMW コネクテッド・アプリを使って自宅の Wi-Fi からスマートフォンにダウンロードするか、BMW に装備されている車載 SIM カードを介して直接インストールすることもできます。重要な車両アップグレードの際には、自動的に後者で実行されます。これにより顧客はアップデートのために BMW サービス・パートナーへ出向く必要がなくなります。このように、リモート・ソフトウェア・アップグレード機能は柔軟な対応で、車両の技術・開発レベルを最新の状態に維持することができます。

モバイル・オフィス:Microsoft Office 365(Skype for Business 付き)

Microsoft Office 365 が組み込まれたことにより、新型 BMW X5 をモバイル・オフィスとして使うことができるようになりました。Business Essential または Business Premium (Exchange 機能付き) アカウントのユーザーは、自分の E メール・アカウントと車両を安全に統合してスケジュールや連絡先を簡単に管理できるので、走行中にスマートフォンへアクセスする手間が全くなくなります。すべての情報とデータは、走行中に直接コントロール・ディスプレイに表示されます。さらに、E メールの読み上げや、走行中に音声入力で新しいメッセージを口述して送信することも可能です。また、カレンダーのアポイントメントの承認や取消しの他、連絡先の住所も直接ナビゲーション・システムに転送することもできます。

すでに 2017 年の秋以降、Microsoft Office 365 のユーザーは車両で Microsoft Skype for Business を利用できるようになっています。このサービスは車両に完全に統合されており、コントロール・ディスプレイから簡単に操作可能です。これから行われる Skype 会議が自動的に検知され、他の参加者とともに表示されます。会議電話に参加するには、iDrive コントローラーを押すだけです。